



第48代理事長
望月昭夫

- 副理事長
大熊 学
秋山 成之
石井 真一
川端 秀明
- 専務理事
櫻井 幸広
- 事務局長
早川 吾郎
- ボランティア・コミュニティ委員長
安藤 肇
- マラソンみらい委員長
原 健二
- 出逢ってワンドラブル委員長
売野 安和
- 一期一会委員長
五十嵐 稔也
- 文化財パトロール隊長
長沼 幹雄
- マラソン大会実行委員長
原 健二
- 監事
楠田 守邦
黒川 富由
大島 隆則

スローガン

自ら風を感じ、風と共に
宝を運ぼう我が地域へ

○会員数 57名
○年会費 120,000円

2005年度は、大きく世代交代する2006年度を迎える年度として、各委員会が外に向けての行動を行い、地域という「風」を感じながら、地域に足利JCという「風」を吹き込む目的としてスタートした。

各会員が、地域に出向き、インターネットを利用し、地域の人々に足利JCの活動を知ってもらい、共に協力し、活動する仲間を作る活動を行った。

大きな事業として「足利市長選公開討論会を実現する市民の会」を立ち上げ、市長選公開討論会を開催した。地域の人々には市民主導のまちづくりの第一歩につながり、会員には足利JCとしての責任を感じ、大きな事業を成功に導く共同作業を通して、真の友情を芽生えさせた。

地域から求められる足利JCの新たな第一歩をふみ出した1年であったと言える。



足利JCの主な出来事

- ◆例会「自ら風を感じ、風と共に宝を運ぼう我が地域（まち）に」講師 米谷啓和氏（2004年度日本JC会頭）
- ◆例会「共に考えよう～足利尊氏公マラソン大会の未来～」
- ◆例会「つどえ、未来の宝たち！～実践・地域教育との出会い～」
- ◆片倉庸光君、両毛6JC第35代会長となる
- ◆両毛地域青年会議所協議会「35周年記念事業」パネリスト栃木県知事 福田富一/群馬県知事 小寺弘之
- ◆足利市長選公開討論会の後援を行う



足利市の主な出来事

- ◆携帯電話メールで子どもを守る防犯情報の提供を開始
- ◆月谷スポーツ広場がオープン
- ◆中央消防署東分署がオープン
- ◆とうこうコミュニティセンターがオープン
- ◆葉鹿保育所と板倉保育所を統合廃止し、にし保育所が新たにオープン
- ◆足利尊氏公生誕700年記念としてさまざまな事業が開催



とうこうコミュニティセンターがオープン

この年の代表的なニュース

- ◆衆院選で自民圧勝、郵政民営化法成立
- ◆JR福知山線で脱線事故、107人死亡
- ◆マンションなどの耐震偽装発覚
- ◆愛知万博開催、目標上回る入場者数
- ◆大型ハリケーン米南部を直撃
- ◆鳥インフルエンザ、東南アジアや中国で猛威

- ☆流行語
「小泉劇場」、「想定内（外）」、「クールビズ」、「刺客」
- ☆流行歌
・Story (AI)
・さくら(ケツメイシ)